

言語理論研究Ⅱ (その2)

2単位 3年(後期)

森岡 芳洋・教授 / 人間文化学科

【授業目的】生成変形文法の初期理論から標準理論における基本概念と関連事項の一部を振り返り [前期], さらに比較的最近までの理論展開・変遷を部分的に辿る [後期] ことにより, 形式的・演算的側面からその普遍的特質に迫ろうとする言語理論が提示する自然言語の姿について考えることを目的としている。分析対象が日本語であれ英語であれ, あるいはその他任意の個別言語であれ, 人間が操る言語の本質的仕組みを探求する試みの一端に触れることになる。

【授業概要】英語を主材料としての統語構造理解

【キーワード】主要部, 文法範疇, 素性, 構成素統御, 統率

【先行科目】『言語理論研究Ⅰ (その1)』(1.0), 『言語理論研究Ⅰ (その2)』(1.0), 『言語理論研究Ⅱ (その1)』(1.0)

【関連科目】『英米言語研究Ⅰ (その1)』(0.5), 『英米言語研究Ⅰ (その2)』(0.5), 『英米言語研究Ⅱ (その1)』(0.5)

【履修上の注意】術語とその定義が多くて煩雑な印象を受けるけれども, そのような道具立てで分析される言語現象の意義をよく理解するように努めてほしい。

【到達目標】英語の統語分析の基本を理解すること。

【授業計画】

1. 後期 (現在に近い理論中心)
2. 1. 導入 2-3. 文法 4-5. 語 6-7. 構造 8-10. 空構成素 11-13. { 主要部移動 }
3. 14-15. { Wh 移動, 他 } 16. まとめ

【成績評価】レポート提出を含む平常点 (30%) と期末試験 (70%) により行う。

【再試験】行う

【教科書】アンドリュー・ラドフォード (著) 外池滋, 他 (訳) 『ミニマリスト統語論』(2006) 研究社 定価 3,800 円 (税別)

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218576>

【連絡先】

⇒ 森岡 (088-656-7122, morioka@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 木曜日 12時50分~14時20分)